

《表現の工夫を評価してスピーチをする 話例》

三年 組 番 氏名

中学校生活で学んだこと

私は中学校生活を振り返り、卒業してからも大切にしたいと考えていることについて話します。

三年生のときに、合唱コンクールの実行委員としてタイムテーブルを作り、それを後輩に指示する立場になりました。これまでは、先輩の指示に従って動いていたので、自分がどのように指示したらよいかわかりませんでした。そのとき、周りの友達からアドバイスをもらったり、後輩にきちんと伝わっているかを確認したりすることで、大きなトラブルもなく、成し遂げることができました。この経験から、自分ではどうすればよいかわからない場合には、周りの人の意見を聞くことが大切だと学びました。

また、文化祭での出し物を計画したときには、うまくいくかどうか不安になりました。しかし、クラスみんなで話し合って、自分の意見とみんなの意見のよいところを取り入れて準備をすることで、想像以上にすばらしい出し物をすることができました。

これからも大切にしたいことは、「周りの人の意見を聞くこと」と、「みんなで意見を出し合うこと」の二つです。自分の仕事に責任をもち、よいものを作り上げる楽しさを学べたことを、私は今後のさまざまな場面で生かしたいと考えています。